

令和5年度学校経営方針

江戸川区立学校清新第一小学校
校長 石橋 悟

心の教育を第一に 教職員・児童みんなで創る学校

保護者・地域から信頼され、共に歩む学校づくり

チーム清新一小による、落ち着いた学校づくり

〈はじめに〉

本校は、昭和58年開校より地域と共に生まれ歩み今年度40周年を迎える学校です。現在、まだ収束していないコロナ禍の対応と、急激な児童数増加に対応した大幅な学区変更と、それに伴う児童数減少の中での取り組みを行っていかねばなりません。その中で**心の教育を第一に考え、「保護者・地域から信頼され、共に歩む学校」「チーム清新一小よる、落ち着いた学校」**を目標に掲げ、本校教育目標の達成を目指していきます。

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化していく中、国の未来を託す宝である子どもたちを育てることこそ学校教育の使命です。**学校がチームとなり、保護者・地域と連携とりながら、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成**を目指さなければなりません。

そのためには、保護者・地域からの信頼を得ることが不可欠です。信頼を得るために、**子ども一人一人の個性を理解し、対応していく生活指導力を身に付けます。そして、「思いやりの心」を育てることにより、児童が安心して生活できる場と、学習できる環境をつくっていくことを目指します。また、教師一人一人が向上心をもって研鑽を重ね、授業力を基盤とした学習指導力を身に付けます。そして、それによって身に付けた学力を正しい方向に向かわせる『心を育てる』教育を道徳科の授業を要として目指します。**

「どうあれば信頼されるか」ということを**教師一人一人がチームの一員として共通実践し、教育公務員としての「情熱と使命感」を持ち合わせた教師集団をつくります。そして、児童が成長していく姿から保護者・地域に信頼され、共に歩んでいく学校づくりに邁進していきます。そのために学校ホームページ等で積極的に学校の取り組みでの児童の姿を発信していきます。今年度は開校40周年の記念すべき年であり、今までの集大成の年として頑張っていきます。**

★開校40周年記念スローガン『羽ばたこう みんなで創る 希望の未来へ』

◎コロナ禍の中で配慮と、工夫をしながら教育活動を実施し、みんなで下記の経営方針を具現化していきます。

○めざす子どもの姿（教育目標） **重点目標「思いやりのある子」**

「体をきたえる子」「**思いやりのある子**」「最後までやりぬく子」「進んで学習する子」

○めざす学校（職場）の姿

- ・人権を尊重し、子ども一人一人を大切に作る学校 ・美しい環境が整い、安心・安全が保たれる学校
- ・明るいあいさつが飛び交い、規律と活気のある学校
- ・学校、保護者、地域、清新・臨海地区の学校が連携し、協力しあう学校
- ・ライフワークバランスを考え、各自が効率的な仕事を進めていく職場。（区の重点事業7）

○めざす教師の姿

- ・児童の模範となって尊敬される教師
- ・厳しさと温もりある指導ができ、児童に信頼される人間性豊かな教師
- ・自ら指導力向上を目指し、向上心をもって絶えず研鑽に励む教師
- ・自らの教育的信条を持ちながらも、目の前の子どもの目線に合わせた対応ができる教師
- ・教育公務員としての自覚を持ち、子ども・保護者から認められる教師

目標を具現化するための基本方針

〈学校経営方針の下、全校・学年がチーム清新一小となり個々の児童を育成する〉

1 生活指導の徹底

教師と児童がお互いを認め合い、何が良いことか、何が悪いことかを理解させ、**規律ある学校生活を送れる児童集団を育成します。今年度も新型コロナウイルス感染症防止対応による新しい学校生活のルールを徹底させます。**

- (1) 清新一小スタンダード、SNS家庭ルールづくりを徹底させます。
- (2) 学校での生活リズムを徹底します。（時間を守らせます。）
- (3) アンケート等の実態調査を活用し、児童の把握を基に学級経営を充実させます。

- (4) 児童との日常的な会話を重視し、子どもの変化をのがさないようにします。
- (5) 厳しい中にも温もりを感じさせる指導を心掛けます。
- (6) 初期対応を的確に行い、学級・学年間の連携を図ります。
- (7) 問題行動・いじめ・不登校の問題に対して、組織的な対応のできる校内体制を充実させます。
- (8) 問題行動・いじめ・不登校等の問題に対して、関係諸機関との連携も平行していきます。

2 確かな学力の定着・体力向上（区の重点事業）

今年度より高学年の教科担任制を実施し、児童に学ぶことの意義や楽しさを感じさせ、中学校につながる指導の方法を工夫し、実践させていきます。

- (1) 読書を通じた探求的な学びにより思考力を高め、基礎学力の支えになるようにします。**（区の重点事業）**
- (2) 授業規律を徹底させ、教科指導を通して生きる力の基礎・基本となる学力をつけます。

（清新一小スタンダードを基本とした共通指導の徹底）

- (3) 互いに授業を見せあい、日常的に授業改善に取り組みます。
- (4) 総合的な学習の時間の充実を図り、各テーマに取り組むことにより、確かな学力の育成を目指します。
- (5) ICT機器を活用した授業に取り組み、一人一台端末を活用した授業に取り組みます。**（区の重点事業）**
- (6) 学びの質の向上を目指した高学年「教科担任制」導入を開始します。**（区の重点事業）**
- (7) 外部講師による年間150回程度の補習教室を実施し、きめ細かい学習支援を推進します。**（区の重点事業）**
- (8) 地域の教育力を主体とし、外部人材を活用した教育活動を推進します。
- (9) 英語専科を中心に外国語教育の充実を図り、効果的にALTを活用します。**（区の重点事業）**
- (10) 毎回の体育の授業の中で体力向上を意識した共通実践と、日常的な休み時間の取り組みで体力の向上を目指します。**（区の重点事業）**

3 道徳教育の推進

・「特別の教科 道徳」の授業を基盤に、全教育活動を通じて、児童の心を耕す道徳教育を推進し、思いやりのある心豊かな児童の育成を目指します。

4 小中連携教育の推進・・・清新・臨海地区の小中学校

- (1) 教科・領域の指導において小中の連続性を意識した、指導法を研究していきます。**（区の重点事業）**
- (2) 生活指導において連携を強化し、小中が同一歩調の指導を目指していきます。
- (3) 交流活動を通して小中連携を推進していきます。

5 安心・安全な学校づくり

- (1) 東日本大震災（首都直下型地震）や大型台風（強風、大雨）の経験をふまえ、それらを想定した防災計画及び、緊急災害対応マニュアルを随時見直し、それに基づいた避難訓練を計画的に行います。
- (2) 生命の尊重を基盤とした安全教育を計画的に行い、セーフティ教室、薬物乱用教室を活用して状況に応じて冷静に判断する力や的確に行動する力を養います。
- (3) 心身共に安全・安心な学校生活が確保されるよう、美化活動充実及び環境整備と日常的な点検を行います。

6 教員の指導力の向上

- (1) 年間の研究テーマに即し、共通の目標に向かって研究に励める環境をつくります。
- (2) 特別支援教育の理解啓発、ICTアシスタントを活用した研修を充実させます。

7 共生社会の実現に向けた教育の推進**（区の重点事業）**

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を行います。
- (2) 教員個々の特別支援教育に関する理解を高め、指導力を身に付けさせます。
- (3) 校内委員会を中心に、支援の必要な児童に対する計画的、組織的な指導を行います。

8 保護者・地域との連携

- (1) 学校公開を充実させます。
- (2) 情報発信のシステムを充実させます。（学校だより、学年だより、HP等）
- (3) PTA活動の理解と積極的な参加・協力をします。
- (4) 地域行事への参加・協力をします。
- (5) 保護者・地域の人材を活用した教育活動を推進します。

9 事務室・主事室・学校栄養士との連携

- (1) 教育活動を支える学校事務や用務主事の重要性を認識し、事務室・主事室との連携を深めます。
- (2) 予算執行の機能化と効率化を図り、教育改革に関する提案を積極的にさせます。
- (3) 子どもの安全を第一に考えた環境整備を最優先にし、常に業務内容を見直します。
- (4) 学校栄養士と連携し、給食指導と衛生管理を徹底し、食物アレルギーのある児童への適切な対応をします。

10 オリパラ教育・・・昨年度より設置したオリパラ委員会も充実させます。

- (1) 東京オリンピック・パラリンピックの経験を生かし、教育レガシープランを基に、オリパラ教育を推進します。

11 学校関係者評価の充実・・・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価を実施します。**（区の重点事業）**